

おでかけワークショップ(美濃加茂商工会議所蜂屋地区懇談会) ヒアリング・アンケート結果まとめ

美濃加茂市では現在、新庁舎整備ロードマップに記載されている各 STEP に基づきながら、新庁舎整備基本構想の再策定を行っています。

「みんなの新庁舎」を市民のみなさんと一緒につくっていくにあたり、今一度、ご意見をお聞きするために、おでかけワークショップを開催しました。

1. 開催概要

(1)日時・場所・参加人数(事務局を除く)

日時:2023年8月18日(金) 18:30~19:30

場所:蜂屋交流センター

参加者(事務局を除く):会員 11人

(2)開催内容

1. あいさつ
2. 情報提供
3. 質疑応答

(3)事務局

美濃加茂市 新庁舎整備推進課

2. 概要

新庁舎整備ロードマップおよび市の役割について情報提供を行い、質疑応答を行った。

(1)質疑応答

◆見直しの経緯について

参加者)

(旧)基本構想・基本計画の見直しは、前回の市長選で決まったが、市役所としてはどう思われていたか。議会や検討チーム等の一部の人達は新庁舎整備について理解しているが、住民はほとんど分かっていなかったと思うが、どう分析されたのか。

市職員)

市長選後、色々な方にヒアリングを行い調べました。その結果、(旧)基本構想や基本計画を作っていた時に、市役所から市民の方への情報提供が不足しており、市民の耳に届いていなかったことで合意を得られなかったのではないかと考えています。市民の皆さんと合意形成を行うため、新庁舎整備ロードマップを策定し、日頃から庁舎にみえる方や市民へ電話でご意見を伺い、皆さんの所へ出かけてご意見を頂いて、まとめあげていくべきということになりました。尚且つ、情報提供を毎月のように広報誌にも情報を載せていただいておりますし、新庁舎整備のポータルサイトや SNS へ情報をたくさん載せて、若い人たちに

も情報を流しながら進めていきたいと考えています。

◆今後の進め方について

参加者)

(旧)基本構想・計画の時は、一部の人達だけで決めてしまっていると感じていたが、ロードマップに示されているようなステップを踏んで、徐々に進めていくことはすごく良いことだと思う。また、議会で決定することは票数を得られれば簡単だと思うが、すべての議員が各地域の意見を反映しているわけではないと思うので、郵便投票の様なことも考えていると聞いて安心すると感じました。前とは全然違う進め方だと思ったので、このまま進めていただけるとありがたいと思います。

市職員)

(旧)基本構想や(旧)基本計画の策定時も、有識者の方や市民の代表の方に検討に入っていたり、委員会をやる時に、市民の皆さんも傍聴できるようオープンに行っていました。しかし、取り組みが市民の皆さんの耳に届いていなかったという事は我々の反省点です。

◆候補地について

参加者)

新庁舎の候補地について、どこにでも新庁舎を建てられるわけではないと思うが、ある程度の候補地は絞られているのではないか。

市職員)

今、候補地は全くの白紙の状態であり、どこなら良いということはありませんが、法的な制限で建てられない場所は当然候補地にはなり得ないと思っている。しかし、市が持っている土地ではなく、新たに土地を購入することも視野に入ってくれば、当然お金はかかります。それでも、市民の希望となれば、土地を購入して新庁舎を建てることになるかもしれません。

前回の検討時は、少しでもお金をかけないために市有地を中心に候補地を絞っていたが、今回白紙になった以上、市民の皆さんの意見も聞いて、候補地を決めたいと思っている。そのため、美濃加茂市全域が候補地だと思っています。また、前回の候補地を決める時には専門的な委員会の中で 4 つの候補地を決めたが、今回は 0 から見直しをしようとしている。例えば、駅北にある市の公園は都市計画公園として縛りがあるが、本当に庁舎の建築が不可能なのか検証しているところです。都市計画図の中でどのくらいの時間をかければ法的な整備をして、建物を建てられるのか、他にどういった場所が候補地となりえるかをしっかりと調べ上げ、市の考え方について情報提供をした上で、ステップ 4、5 のワークショップを行いたいと考えている。

◆人口減少を見据えた計画について

参加者)

今後、人口が減っていく中で税収も減っています。一般企業は AI を導入して人員の削除をしています。こういった流れの中で、今から何年後の未来を見据えて庁舎を建てるかによって、庁舎のサイズ感や中のシステムは大きく変わると思います。市としては何年後の人口を見据えているのか、どういった指針をだすのでしょうか？

市職員)

少子化が問題になってきた時に、美濃加茂市も「人口ビジョン」を作っています。現状は微増の状態ですが、2035～2040年くらいをピークに人口が下がっていくと考えています。また、高齢化率は今23%くらいですが、これが25、30となった時にどうなるかも視野に入れて、人口ビジョン等も踏まえながら、考えないといけないと思っています。

今、市役所に来る市民の9割が証明書や住民票の発行といったものに限られていますが、今後デジタル化が進むと、その9割の方は家から書類を入手できるようになり、市役所に来る必要がなくなる可能性があります。新庁舎に今ほどの窓口が必要なのかという問題がありますが、一方で多種多様な相談が増えています。昔は相談窓口でも、あまり仕切りが無いものだったが、今は仕切りをつけて、色々な相談を市役所で多く受けているため、充実した相談スペースが必要ではないかと考えています。

市民の皆様は10年後の未来、どういう市になったらいいですか？と考えていただいているところですが、スペースを狭くしていい部分、市民に必要な部分を総合的に考えて庁舎の大きさも決めていきたいと思っています。

◆市職員の考える市の役割について

参加者)

ロードマップのステップ1に「市民が考える市の役割と、市職員が考える市の役割の共通認識を広める」とあるが、市職員の方は市にどういう役割があると考えているか。

市職員)

美濃加茂市に限らず、市町村は10年ごとに総合計画を作り、目指すべき姿を作っています。美濃加茂市は最新で第6次総合計画を定めており、健康増進や女性、若者活躍等の6つの重要ポイントをまとめており、この総合計画を基に業務を行っています。これが資料7のビフォーにおける青丸部分の市役所の考える市の役割です。今回ワークショップを行い、市民の皆様にご意見をいただいたところはピンクの部分です。市の考える役割と市民の皆さんが考えている市の役割と一致するところが共通認識となります。ピンク色の月形部分は、行政は10年の計画を作って進めているが、市の役割として今の時代はもっとこうしてほしいと市民の皆さんが考えていることとなります。市民の皆さんが考えている市の役割と市が今進めようと思っている市の役割に、こういった違いがあることを分かっていたく事が今回のステップ1のワークショップの目的でした。アフターの図のように共通認識を広められるよう、今後も進めていきたいと思っています。また、おでかけワークショップでもワークショップ形式を行う予定なので、ご意見をいただきながら進めていきます。

◆市役所への相談について

参加者)

先ほど市役所へ相談者が結構みえると言っていました。どういった悩みや年代の人が多いのかデータ等はあるか。

市職員)

データを取っていないので、感覚的になるが、福祉関係の相談が多いです。生活困窮や収入が減ってしまったことの相談というケースは非常に多いです。加えて、国保や年金、国保料の支払いに関する相談が

あります。保険がないと病院にかかれぬこともあるので、ご相談にくる方は非常に多いです。先ほど言われたように市民課に来るお客さんは 9 割が証明書、1 割が住民票の移動くらいという感じです。

今の庁舎は 62 年前に建ちましたが、その時は子どもや高齢者を家族や地域でしっかり見ていく生活スタイルがあったと思うので、市役所の相談業務に子育て支援や高齢者の方を守っていくような相談はほとんどなかったのではないかと思います。最近、人と人との関係が希薄になってきたという事もあり、子育て支援課ができ、介護保険の制度ができたので、それを市の業務でやらないといけません。自助、公助でなく共助というところで、市に求められているものが 60 年前からは変わっているので、時代の流れも相談業務が増えている要因の 1 つかと思います。今後少子高齢化が進んでいくと、高齢者支援等の相談業務がもっと増えると考えています。

◆市が行う支援について

参加者)

私は仕事で再就職支援などを行っています。色々な給付金の受給者の中に、受給後もできるだけ楽をしたいので、受給したままの人が増えているのではないかと思います。その人たちを生活困窮者としていいのか、受給の条件をもう少し厳しくして再就職を促せば、事業者が今一番困っている人材不足も解決できるのではないかと思います。

市職員)

私も昔、福祉課で生活保護等の担当をしていましたが、その頃と比べると受給者は圧倒的に増えています。本当は必要最低限の支援を行うことで、状況を改善しながら生活してもらいたいが、そうでない人もいる事は私も耳にしています。

◆市職員について

参加者)

市役所の職員の業務の幅が広がっており、忙しいのだと思うが、担当の方が変わると、やり方がガラリと変わってしまうと感じます。補助金があったとしても、情報を出すと自分の仕事が増える、という感じが伝わってくることもあり、市民の為にプラスになる情報を積極的に出して欲しいと思います。全て職員さんに頼るというわけじゃなくて、市民もタッグを組んでチャレンジしていけば良いと思います。

市職員)

大変ご迷惑をおかけしています。職員の人事異動はありますが、その時にきちんとどういった法律に基づいた制度があり、補助金を出しているのか等を引継がないと、今言われたような事が起こる可能性も出てきてしまいます。我々市職員はプロフェッショナルだという意識をしっかりと持つべきだと庁内でも話しているところです。ただし、職員の数自体もかなり不足しています。国が出している資料には、人口が 5 万人から 20 万人くらいの間で 1 次 2 次 3 次の産業構造が美濃加茂市とよく似ている自治体は全国に美濃加茂市を含めて 78 自治体くらいあります。その中で美濃加茂市は職員数が下から 3 番目で、78 団体の平均値から見ても職員数は 50 人少ない状態です。その分、会計年度任用職員を雇いながら業務を行っています。先ほどお話のあった、市民の利益になることはどんどん表に出していくことも我々がやっていかなければと考えています。新庁舎も単に我々が仕事をするだけのワークスペースだけで終わらないようにしっかり考えていきたいなと思います。

◆今後の税収について

参加者)

美濃加茂市が消滅都市でないのは外国人の方が多いからという認識です。実際戸建の数と人口をみると、人口に対して戸建数は多くないと思いますが、外国人が多いのは要因かなと思います。しかし、その方々が県外に仕事に出てしまうこともあると思うが、その場合、税収も今の試算より一気に減るのではないかな。

市職員)

外国人の人口ですが、約10%で市の中では全国でトップクラスです。リーマンショック前までは11.2%で全国1位でした。リーマンショックで一時減少しましたが、また増え続けており、今の人口増にかなり影響しています。外国人の子供たちも増えています。日本人の人口は下がっていますが、他の自治体に比べると美濃加茂はほぼ横ばいです。ただし、昼夜間人口は以前と比べて大きく変わりました。かつては昼間の人口が多かったのですが、名古屋のベッドタウンや岐阜のベッドタウンになることで市外に仕事に行かれるので昼間の人口の方が少なくなります。

働く場所は外にあっても、外国人の市民であっても、日本人の市民であっても、美濃加茂市民ですので、個人住民税は美濃加茂市に入ります。外に働きに行くからと税収が下がることはあまり考えなくてもよく、人口減少や高齢化の方が税収の減少に大きな影響を与えるのではないかなと思っています。

◆交通手段について

参加者)

電車で市役所にくる人は何割いますか？

市職員)

1割弱です。色々な考え方がありますが、立て直す前の県庁や関市役所は郊外に建てています。当時はかなり批判も受けたそうですが、庁舎の周りが発展したという事実も現実にあります。ただ、同じことを今もう一回できるかは分かりません。特に美濃加茂市は車社会ですが、それがずっと続くのか、もしくは、高齢の皆さんが免許返納をし始めているので、駅に近い方がいいという考え方もあります。離れてでも車で行ければいいのか、あい愛バスを拡充するのか、様々な事も合わせて皆さんと相談していきたいと思いません。

参加者)

北部からすると太田地区はすごく遠いが、北部から新庁舎へ行くために電車は使わない。

市職員)

将来は多分こうなるという予測を皆さんと一緒にしていかなるを得ないと思っています。市民が10年後20年後どういった生活をしたいのか、車に乗らなくてもどこにでも行ける街にしたいのか、車で移動できればよいのか、自動運転が普及するので車でよいという話かもしれません。市民の考え方や気持ちをしっかりと汲み取っていきなるとしています。

参加者)

バスを見ていると乗っている人が少ないので、乗る人がいない場所を走らせるより、バスを少なくしながら、本当に必要な所にタクシーチケットを配布する等、方法を考えてみたらどうか。どうしても車がないと病院にいけない人のために、やりかたを考えてみてはどうか。ただ走っているだけのバスは無駄のような気がします。

市職員)

オンデマンドという考え方があって、タクシーのようにドア to ドアが一番いいという方もお見えになるし、健康の為にバス停まで歩きたいという方もお見えになります。ただ、やはり買い物して帰りに重い荷物を持って歩くのは大変だという方もいらっしゃいます。例えば、年間 5 億、10 億かけてもいいと皆さんが判断されれば、タクシーチケット等も可能でしょうし、できるだけ抑えるのであれば、一番効率的な所はどこなんだという事を考えなければいけません。今全国の自治体でも、こういった方法がいいか検討されています。美濃加茂市は路線時間やバス停の場所等、見直しをかけながら、大きなバスが必要な所、小さいバスで問題ない所等、今色々工夫しているので、これから市民の方の免許返納等、変化も含めながら、どう見直しをしていくかを常に考えていきたいと思っています。

◆複合施設化について

参加者)

市役所がどこになろうがシティホテルが併設されるのか？

市職員)

前回の計画ではシティホテルは竣工後 30 年以上経っていたので、取壊しのお話をさせていただいて、市役所に併設する案としていました。今回新庁舎計画が白紙に戻ったので、シティホテルの取り壊しも白紙になりました。今の状態を保ちつつ使用する可能性もありますが、違う用途に使う可能性もあります。皆さんのご自宅も修繕を屋根や壁などにしますよね。商業ビルもすごい費用がかかるものなので、費用をかけていくべきなのか、または民間に建ててもらって、市はそこを借りようという方法がいいのか。しっかり検討していきたいと思います。庁舎と少し切り離しながらも考えていかないといけないと思っています。

参加者)

コンベンションホールはどうか。

市職員)

コンベンションホールはこの辺の地域にはありません。今まで美濃加茂市がホールを必要とする場合周辺の自治体に借りたりしてきましたが、コロナの影響でホールの数が落ち込んでしまった事もあり、前回の基本計画では、コンベンションホールを庁舎の中に持ちましょうという計画でした。しかし、今回計画が白紙になったので、今後コンベンションホールはあのまま市商業ビル、シティホテルとして残していくべきなのか、庁舎の中に作るべきなのか、考えていく必要があります。庁舎の中に作れば、当然庁舎の建設費用も上がります。何億円というレベルであるので、それでも必要とされるのかどうか、皆さんと色々話をしないとけないと思っています。

市職員)

皆さん 5 万 7 千人全員の意見を聞いても、1 つの答えにはならないと思います。最後は市議会議員が市議会で決めるんだと考える方もいますが、議員の方たちへ行政の執行部側が提案を上程して初めてそれをいいか悪いか判断されます。したがって、我々行政はどこがいいか、しっかり見極める責任がありま

す。その為に、皆さんから意見をたくさん聞いているので、たくさん意見が出てきた中で、法律的に難しい案や実現するには 20 年かかってしまう案、お金がかかりすぎてしまう案等を整理しながら候補地を例えば 3 ヶ所に絞り、メリットやデメリットをしっかりと示して、最後には住民投票やアンケート等で、住民の皆さんが決めて、それを議会に上程するというように我々がやっていこうと思っています。我々も努力しますのでご理解いただけたらと思います。

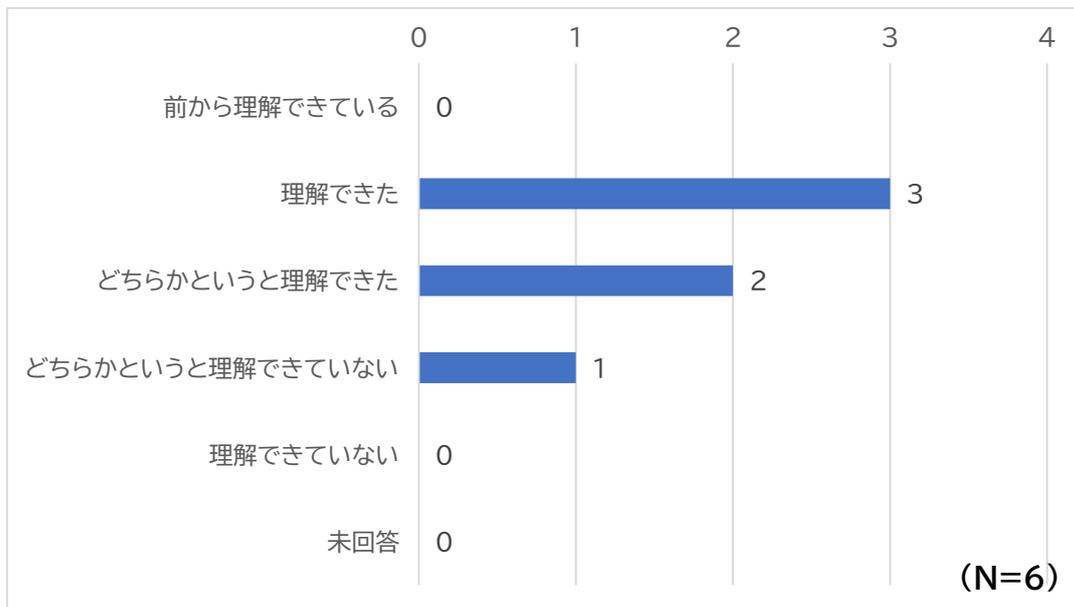
(2)アンケート結果の概要 ※回答者数 6名

問1. 本日のワークショップを通じて、新庁舎整備ロードマップ(検討プロセス)を理解することができましたか？

「理解できた」が最も多く、次いで「どちらかという理解できた」が続いた。「どちらかという理解できていない」という意見もあった。

	回答者数【N=6】
前から理解できている	0
理解できた	3
どちらかという理解できた	2
どちらかという理解できていない	1
理解できていない	0
未回答	0
合計	6

図 1. 新庁舎整備の理解について

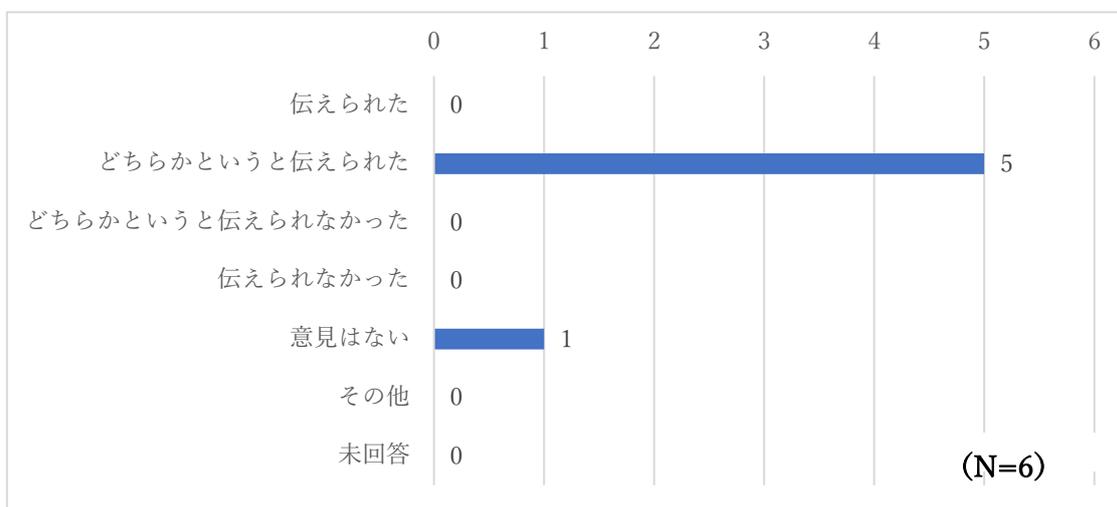


問2. 本日のワークショップを通じて、新庁舎整備への意見を伝えられましたか？

「どちらかという伝えられた」が最も多く、次いで「意見はない」が続いた。

	回答者数【N=6】
伝えられた	0
どちらかという伝えられた	5
どちらかという伝えられなかった	0
伝えられなかった	0
意見はない	1
その他	0
合計	6

図2. 新庁舎への意見について

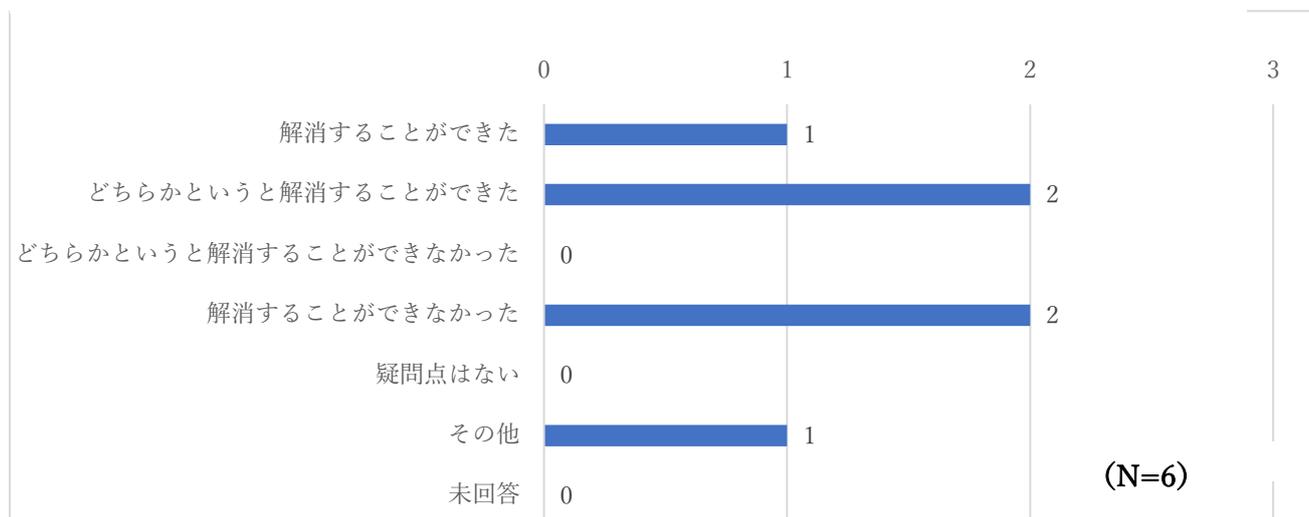


問3. 本日のワークショップを通じて、新庁舎整備に対する疑問点を解消することができましたか？

「どちらかというと解消することができた」、「解消することができなかった」が最も多く、次いで「解消することができた」が続いた。

	回答者数【N=6】
解消することができた	1
どちらかというと解消することができた	2
どちらかというと解消することができなかった	0
解消することができなかった	2
疑問点はない	0
その他	1
合計	6

図3. 疑問点の解消について

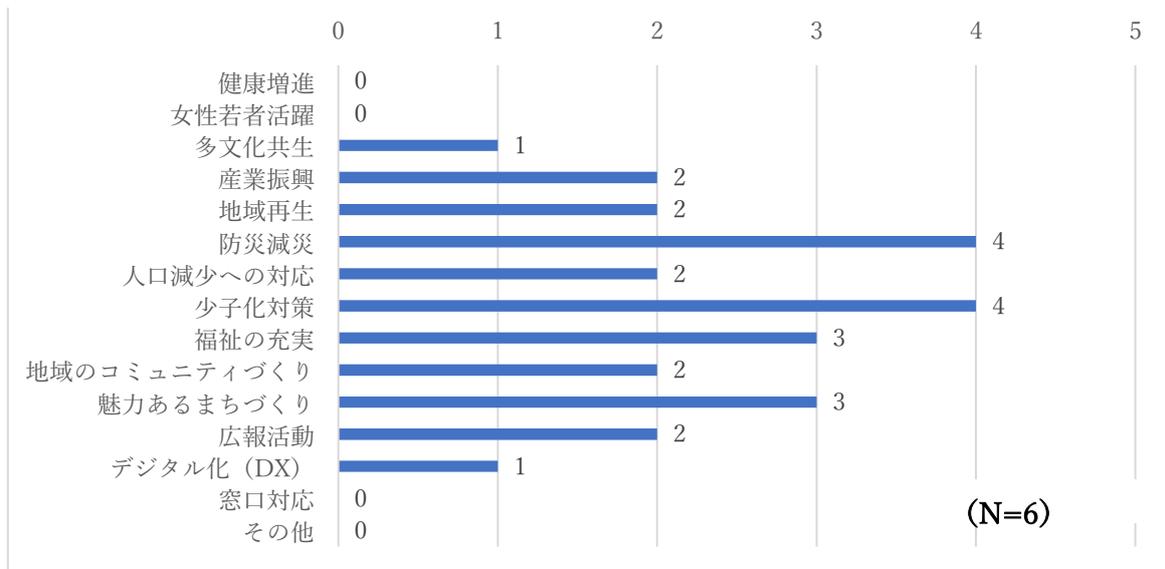


問4.「市の役割」として何が思い浮かびますか？(複数回答)

「防災減災」、「少子化対策」が最も多く、次いで「福祉の充実」、「魅力あるまちづくり」が続いた。

	回答者数【N=6】
健康増進	0
女性若者活躍	0
多文化共生	1
産業振興	2
地域再生	2
防災減災	4
人口減少への対応	2
少子化対策	4
福祉の充実	3
地域のコミュニティづくり	2
魅力あるまちづくり	3
広報活動	2
デジタル化(DX)	1
窓口対応	0
その他	0
合計	26

図4. 「市の役割」について



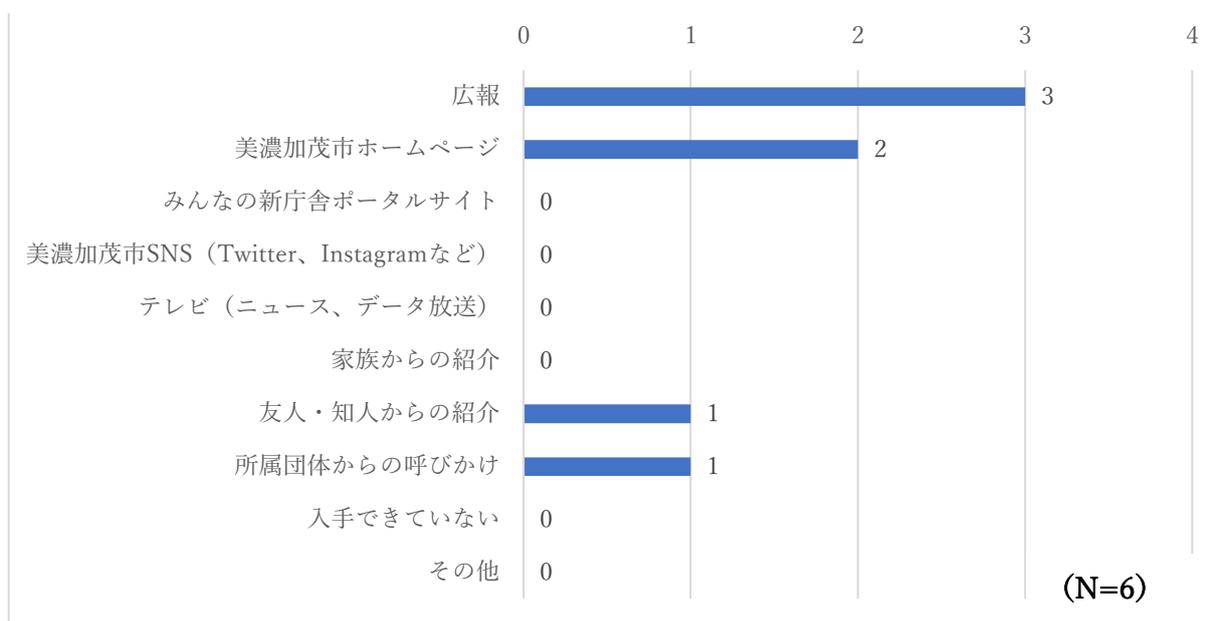
※複数回答有

問5. 新庁舎整備に関する情報をどのような方法で入手しましたか。(複数回答)

「広報」が最も多く、次いで「美濃加茂市ホームページ」が続いた。「友人・知人からの紹介」、
「所属団体からの呼びかけ」という意見もあった。

	回答者数【N=6】
広報	3
美濃加茂市ホームページ	2
みんなの新庁舎ポータルサイト	0
美濃加茂市 SNS(Twitter、Instagram など)	0
テレビ(ニュース、データ放送)	0
家族からの紹介	0
友人・知人からの紹介	1
所属団体からの呼びかけ	1
入手できていない	0
その他	0
合計	7

図 5. 新庁舎整備に関する情報の入手方法について



※複数回答有

問6. 新庁舎整備に望むことなど、その他ご意見がありましたらご自由にお書きください。

(自由記入)

◇自由意見

- ・利用される年代、用件の多い方を優先していただく
- ・決定する場合、住民投票をぜひしていただきたい。